

# 異常気象、災害から県民を守れ 災害危険箇所の総点検と緊急の対策強化を求める



山本のぶひろ県議

**ダムの緊急放流が重大被害を引き起こす**  
 ダム湖の貯水量が満杯になれば、ダムは洪水調節ができなくなり、西日本豪雨災害ではダムの緊急

**ダムに頼る治水策は危険 立野ダム建設は中止すべき**  
 山本のぶひろ県議は、ダムに依拠した治水対策の危険性を指摘し、白川上流に建設中の立野ダム中止を決断するよう蒲島知事に求めています。

**放流が行なわれ、下流が急激に水かさが増し、住宅が押し流され、死者が出る重大な被害となりました。**



大量の流木が押し寄せた九州北部豪雨災害

**他人事では済まされない！**  
**これまで経験したことのない自然災害が各地で発生**  
 台風や豪雨など、自然災害の脅威から住民の安全・財産を守る取り組みがこれまでに以上に求められています。

放流が行なわれ、下流が急激に水かさが増し、住宅が押し流され、死者が出る重大な被害となりました。ダムは想定内の降雨量であれば確かに洪水調節に役立ちますが、気候変動が進行し、「これまで経験したことがない」豪雨災害が毎年のように発生している状況のもとでは、ダムは逆に危険な存在となります。



ダムの緊急放流により下流は危険な状況に (写真はイメージです)

**防災施設の整備と安全点検の徹底など 災害に強いまちづくりを**  
 気候変動により、大規模災害が多発しています。災害が発生してからの復旧・復興対策だけでなく、災害の発生を抑え、被害の拡大を防止するための

予防対策を重視した政策への転換が必要です。必要な防災施設の整備と安全点検を徹底することや、消防や地域・自治体の防災力強化など、災害に強いまちづくりのために県として力を尽くすことが求められます。



浸水被害は全国各地で



台風19号災害への救援募金を呼びかける

**「穴あきダム」立野ダムは穴ぼけの危険**  
 建設中の立野ダムは、常時放流孔から水を流す「穴あきダム」です。しかし豪雨が発生すれば大量の岩石、土砂、流木などが押し寄せてきます。ダム放流孔のゲートがつかまれば、短時間のうちにダム湖は満水となり、洪水調節不能となります。危険なダム建設は中止し、堤防強化や遊水地建設などに転換すべきです。

## 希望ある暮らしへ 県政をチェンジ!

山本のぶひろ 県議の活動から



益城町の河川氾濫



甲佐町の私道損壊を調査



人吉市の土砂崩れ現場

**現場にかけつけ、皆さんの声を届けてきました**  
 県内各地で災害が発生しており、住民の安全確保や生活再建支援のため、現地に駆けつけて実情をつかみ、解決のために力を尽くしています。めに、行政が果たすべき役割がますます大きくなっています。要請があれば直ちに

**県民のくらし向上へ 県政転換へ積極提案**  
 高すぎる国民健康保険制度の負担軽減を求めています。また子育て支援では一貫して子ども医療費無料化の拡充を求めています。熊本地震からの復興では、一部損壊家屋への公的支援適用、希望するすべての仮設入居者の入居期間延長、災害公営住宅への家賃補助を実現するよう県に迫りました。水保病被害者の救済、個人の尊厳とジェンダー平等など、様々な県民要求を県政に届けています。



**日本共産党 県議会だより**  
 山本のぶひろ  
 2019年秋冬号 熊本市中央区水前寺6丁目18-1  
 電話 096-333-2647 ファックス 096-385-0255 HP [日本共産党 山本のぶひろ]

年金や医療、子どもの未来、消費税増税や生活苦、環境問題など、私達の暮らしの現在と未来に大きな不安が広がっています。国の悪政にものを言わない蒲島県政では暮らしは守れません。私は、県民本位の県政実現へ引き続き全力で奮闘してまいります。  
 県議会議員 山本のぶひろ